



交付運用報告書

損保ジャパン－TCW外国株式ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／ Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2021年7月16日～2022年7月15日

第24期 決算日：2022年7月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

各ファンドは、日本を除く世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、各ベンチマーク（Aコース：MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）・Bコース：MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））を中長期的に上回る運用成果を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



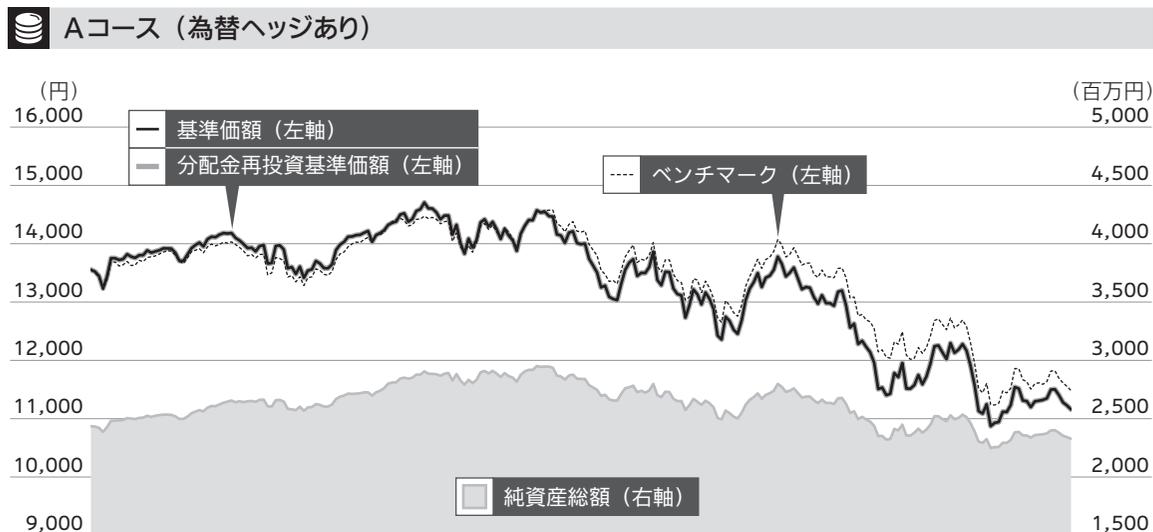
0120-69-5432

第24期末 2022.7.15		
	Aコース (為替ヘッジあり)	Bコース (為替ヘッジなし)
基準価額	11,159円	19,753円
純資産総額	2,327百万円	2,548百万円
騰落率※	△17.7%	1.4%
期中分配金合計	0円	0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

● 基準価額の推移



第23期末
2021.7.15

第24期末
2022.7.15

第24期首

騰落率

第24期末

基準価額
13,554円

△17.7%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

基準価額
11,159円
(期中分配金)
(合計0円)

- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ））の推移は、2021年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

● 基準価額の主な変動要因

Aコース（為替ヘッジあり）

実質的な投資対象である損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンドにおいて、保有する株式の価格が下落し、さらに、対円で為替ヘッジを行っていたため、為替の動きによる影響は限定的となったため、基準価額は下落しました。

損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド

期中の騰落率は+3.4%となりました。

保有する株式の価格は下落しましたが、為替において米ドル、ユーロ、英ポンドなどが対円で大幅に上昇したことが主にプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

📊 Bコース（為替ヘッジなし）



第23期末
2021.7.15

第24期末
2022.7.15

第24期首
基準価額
19,488円

騰落率
1.4%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

第24期末
基準価額
19,753円
(期中分配金)
(合計0円)

- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2021年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

● 基準価額の主な変動要因

Bコース（為替ヘッジなし）

実質的な投資対象である損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンドにおいて、保有する株式の価格は下落しましたが、一方で、為替において米ドル、ユーロ、英ポンドなどが対円で大幅に上昇したことで当ファンドの基準価額が上昇しました。

損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド

期中の騰落率は+3.4%となりました。

保有する株式の価格は下落しましたが、為替において米ドル、ユーロ、英ポンドなどが対円で大幅に上昇したことが主にプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

📁 Aコース（為替ヘッジあり）

項目	第24期 2021.7.16~2022.7.15		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	280円	2.090%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率（年率） × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は13,386円です。
（投信会社）	（140）	（1.045）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（125）	（0.935）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（15）	（0.110）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.035	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	（4）	（0.031）	
（投資信託証券）	（1）	（0.004）	
(c) 有価証券取引税	1	0.005	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	（1）	（0.005）	
（投資信託証券）	（0）	（0.000）	
(d) その他費用	9	0.066	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	（5）	（0.039）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（2）	（0.015）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（2）	（0.012）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	295	2.196	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

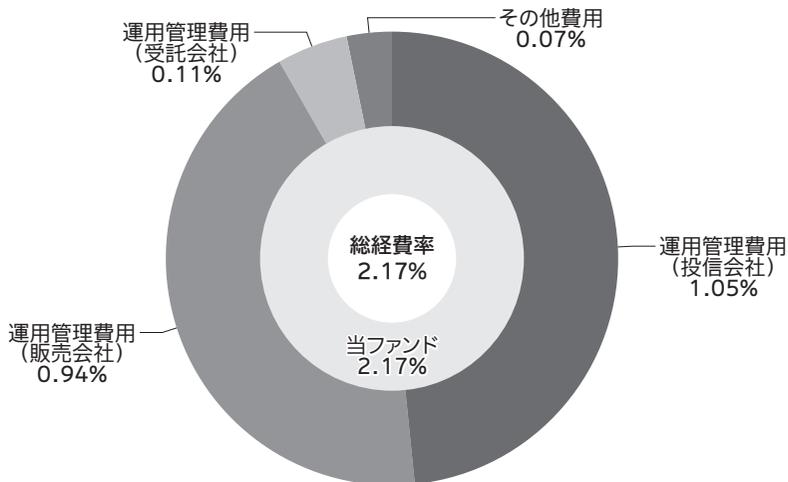
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.17%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



Bコース（為替ヘッジなし）

項目	第24期 2021.7.16~2022.7.15		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	427円	2.090%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率（年率） × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は20,448円です。
（投信会社）	(214)	(1.045)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(191)	(0.935)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(22)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.034	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(6)	(0.030)	
（投資信託証券）	(1)	(0.004)	
(c) 有価証券取引税	1	0.005	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(1)	(0.005)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	13	0.065	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(8)	(0.037)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(3)	(0.015)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(3)	(0.013)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	448	2.194	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

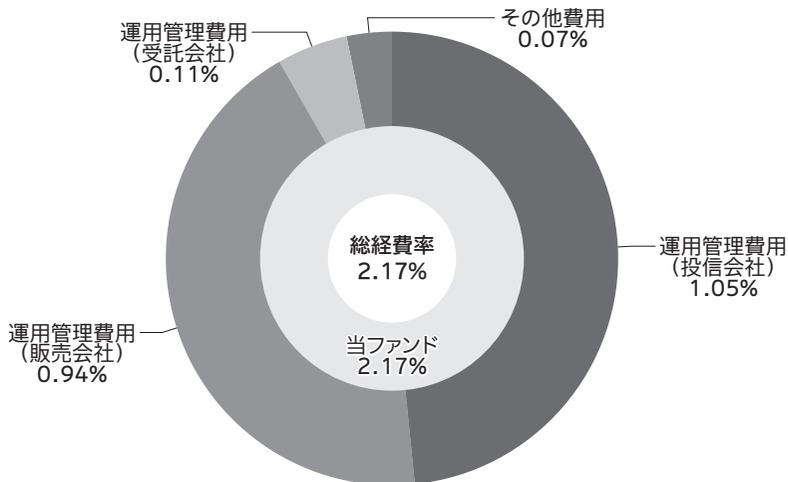
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.17%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移

2017.7.18~2022.7.15

● Aコース（為替ヘッジあり）



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ））の推移は、2017年7月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

決算日		2017.7.18 決算日	2018.7.17 決算日	2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日
基準価額	(円)	8,693	9,549	9,936	10,204	13,554	11,159
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率	(%)	—	9.8	4.1	2.7	32.8	△ 17.7
ベンチマーク騰落率	(%)	—	8.3	3.9	1.3	33.4	△ 15.3
純資産総額	(百万円)	1,397	1,588	1,657	1,773	2,435	2,327

- ベンチマークは、MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）です。

指数に関する詳細は26ページをご参照ください。

2017.7.18~2022.7.15

 Bコース（為替ヘッジなし）


- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2017年7月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

決算日		2017.7.18 決算日	2018.7.17 決算日	2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日
基準価額	(円)	12,133	13,516	13,832	14,201	19,488	19,753
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率	(%)	—	11.4	2.3	2.7	37.2	1.4
ベンチマーク騰落率	(%)	—	9.7	0.4	2.0	39.0	4.7
純資産総額	(百万円)	1,717	2,015	2,095	2,154	2,937	2,548

- ベンチマークは、MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）です。

指数に関する詳細は26ページをご参照ください。▶

最近5年間の基準価額等の推移

● 投資環境

○米国株式市場

米国株式市場は下落しました。

2021年の年末にかけては、オミクロン株の感染拡大による景気への警戒感が後退したことや、好調な経済などを受けて堅調に推移しました。

2022年2月は、ウクライナ戦争による世界経済への先行き不透明感から下落しましたが、3月には、ロシアとウクライナの停戦合意に向けた期待などを背景に上昇しました。

期末にかけては、中国での都市封鎖の拡大、物価上昇による金融引き締めへの警戒などから大きく下落しましたが、世界の中央銀行が相次いで利上げを実施し、先行きの景気減速観測が強まり、米国金利が低下傾向になったことを受け、下落幅を一部取り戻しました。

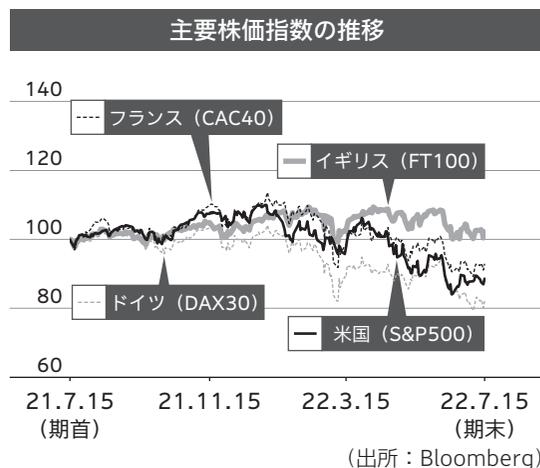
○欧州株式市場

欧州株式市場は下落しました。

2022年の年明けにかけては、オミクロン株の感染拡大による景気への警戒感が後退したことや、英国で行動規制が強化されなかったことなどを受けて上昇しました。

2月以降は、ウクライナ情勢や欧州の金利上昇によるリスク回避の動きから下落しましたが、3月には、ロシアとウクライナの停戦協議に進展の兆しが見られたことが株価を下支えしました。

期末にかけては、インフレ高進により各国が利上げをする中で金融引き締めが加速するとの懸念により、軟調に推移しました。



注. 期首を100として、委託会社にて指数化したものを使用しております。

○アジア株式市場

アジア株式市場は概ね下落しました。

2021年の年末にかけては、中国不動産大手の債務問題や、欧州での新型コロナウイルスの感染再拡大などで下落しましたが、オミクロン株への過度な警戒が後退したことで、下落幅を一部取り戻しました。

2022年2月以降は、ウクライナ情勢や原油価格の高騰、中国の一部地域での都市封鎖開始や米国の金融引き締め観測などで下落幅を拡大させる展開となりました。

5月以降は、中国上海の都市封鎖解除や中国の景気対策への期待から上昇しました。

○為替市場

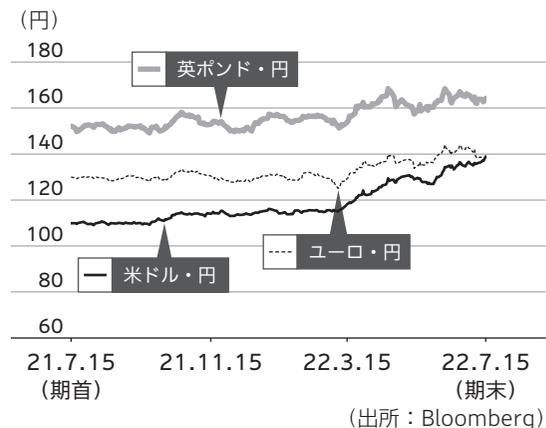
米ドルは、2021年9月下旬以降は米国金利の上昇などから円に対して上昇基調となり、更に、2022年3月以降は日米の金融政策の方向性の違いにより、日米の金利差が拡大し、期末にかけて円に対して一段と上昇基調を強める展開となりました。

ユーロ、英ポンドは、2022年2月にはウクライナ情勢の悪化による景気減速懸念や、英国のマイナス成長予測などから下落する局面もありましたが、利上げ姿勢を示す欧州との金融政策の差が意識され、円に対して上昇しました。

主要株価指数の推移



為替レートの推移



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

📊 Aコース（為替ヘッジあり）

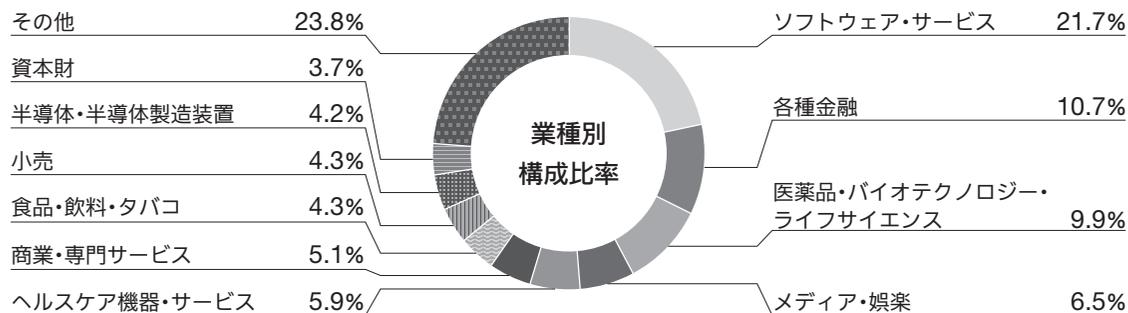
期を通して、損保ジャパン－T C W外国株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。また、実質外貨建資産については為替ヘッジを行っています。

📊 Bコース（為替ヘッジなし）

期を通して、損保ジャパン－T C W外国株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

🏢 損保ジャパン－T C W外国株式マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。



注1．比率は、第24期末における外国株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

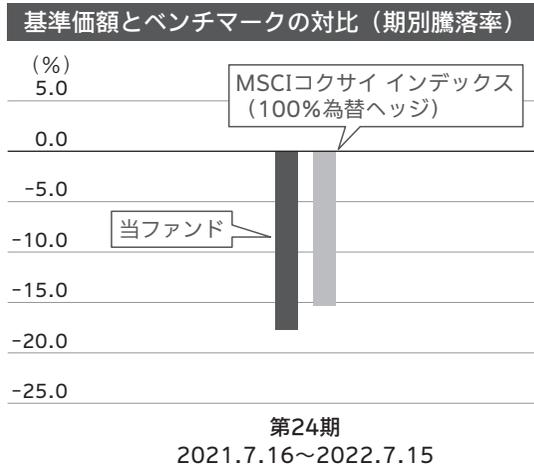
注2．端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

📁 Aコース（為替ヘッジあり）

当ファンドの騰落率（分配金再投資基準価額ベース）は、ベンチマーク（MSCIコクサイインデックス（100%為替ヘッジ））の騰落率（-15.3%）を2.4%下回りました。

米国株式の銘柄選択要因が主にマイナスに寄与しました。

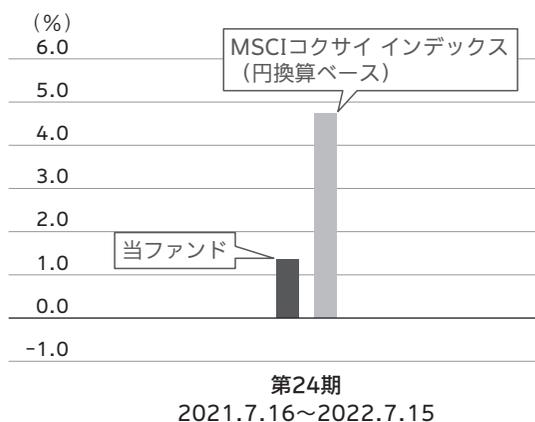


📊 Bコース（為替ヘッジなし）

当ファンドの騰落率（分配金再投資基準価額ベース）は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の騰落率（4.7%）を3.4%下回りました。

米国株式の銘柄選択要因が主にマイナスに寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



損保ジャパン-TCW外国株式マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の騰落率（4.7%）を1.3%下回りました。

米国株式の銘柄選択要因が主にマイナスに寄与しました。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

Aコース（為替ヘッジあり）

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 （単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第24期 2021.7.16~2022.7.15
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,250

- 注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- 注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
- 注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

Bコース（為替ヘッジなし）

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 （単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第24期 2021.7.16~2022.7.15
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	14,376

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

Aコース（為替ヘッジあり）

引き続き「損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の株式に分散投資することで、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。なお、原則として実質外貨建資産については為替ヘッジを行います。

Bコース（為替ヘッジなし）

引き続き「損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の株式に分散投資することで、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。なお、同コースについては原則として為替ヘッジを行いません。

損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド

インフレの動向、中央銀行の政策、ウクライナ戦争などにより市場の不確実性が高まっています。米国では、インフレ抑制の為、FRB（米連邦準備理事会）の積極的な金融政策により米国の景気後退の可能性が高まってきています。このような環境の下、引き続き高い成長と安定したキャッシュフローが見込める企業の発掘に努めます。

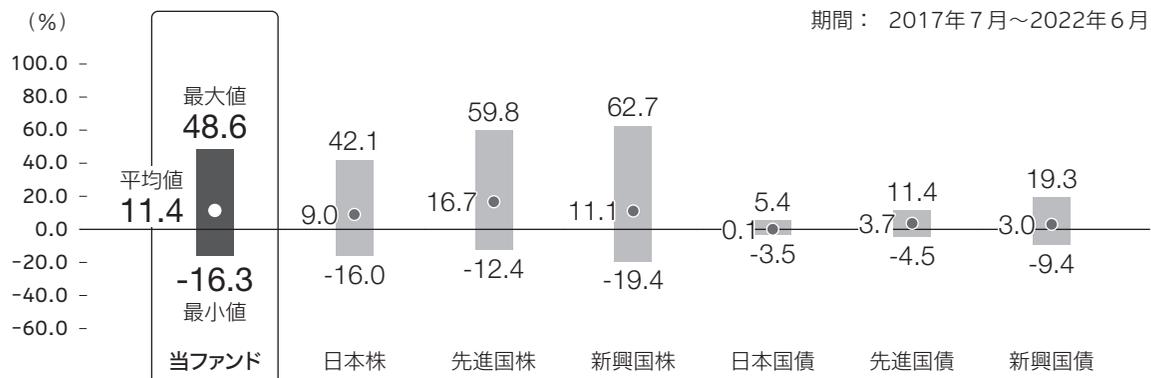
当ファンドは各ストラテジーの投資比率を適宜調整し、個別企業のファンダメンタルズ分析に注力し、いずれの景気局面においても恩恵を十分に受けられるポートフォリオを構築してまいります。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	中長期的に信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。
主要投資対象	<p> 損保ジャパン－TCW外国株式ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし） 「損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド」受益証券</p> <p> 損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド 日本を除く世界各国の株式</p>
運用方法	<p>① 日本を除く世界各国の株式を実質的な主要投資対象とします。</p> <p>② 「Aコース（為替ヘッジあり）」 MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指します。 「Bコース（為替ヘッジなし）」 MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指します。</p> <p>③ 各ファンドのマザーファンドである「損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド」の運用スタイル毎のアロケーションと北米株式の運用の指図に係る権限を、米国のTCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANYに委託します。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>② 収益分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、基準価額水準、市場動向等によっては分配を行わないことがあります。</p>

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

☰ Aコース（為替ヘッジあり）



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

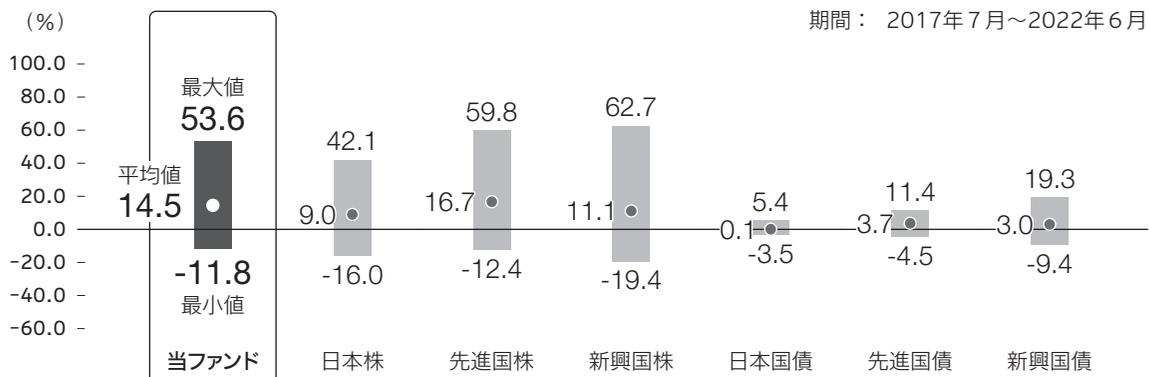
日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は26～27ページをご参照ください。

Bコース（為替ヘッジなし）



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は26～27ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

📊 Aコース（為替ヘッジあり）

● 当該投資信託の組入資産の内容

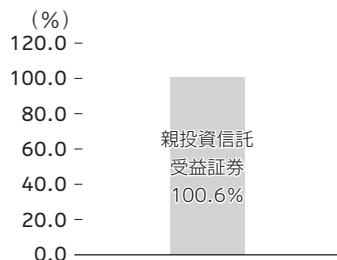
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

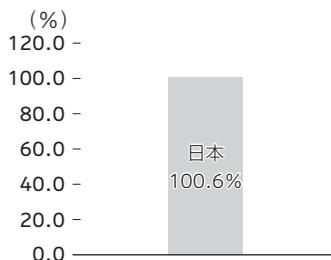
	第24期末 2022.7.15
損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド	100.6%

注. 比率は第24期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

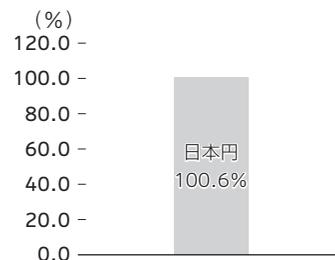
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第24期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第24期末 2022.7.15
純資産総額	2,327,969,934円
受益権総口数	2,086,169,192口
1万口当たり基準価額	11,159円

※ 当期中における追加設定元本額は709,736,969円、同解約元本額は420,365,786円です。



Bコース（為替ヘッジなし）

● 当該投資信託の組入資産の内容

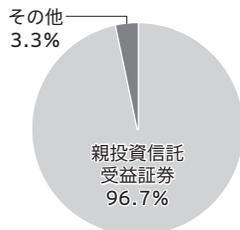
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第24期末 2022.7.15
損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド	96.7%

注. 比率は第24期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第24期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第24期末 2022.7.15
純資産総額	2,548,656,845円
受益権総口数	1,290,254,452口
1万口当たり基準価額	19,753円

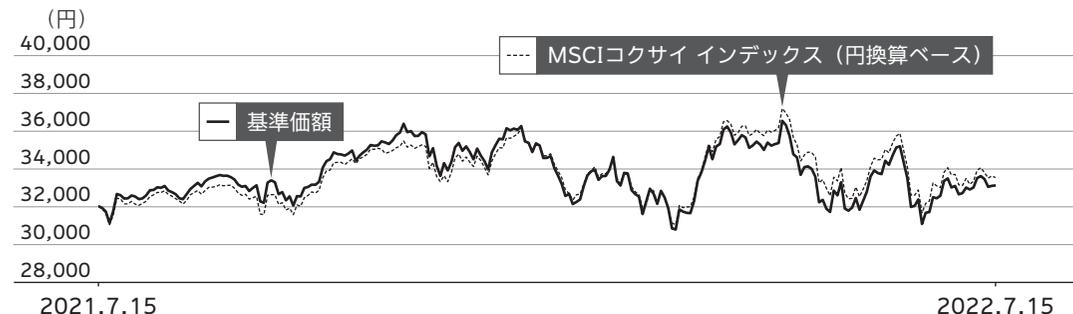
※ 当期中における追加設定元本額は287,802,439円、同解約元本額は504,996,091円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

損保ジャパン－T C W外国株式マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2021年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

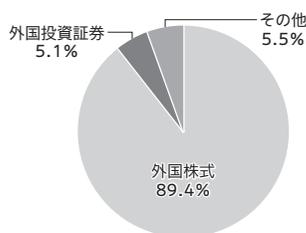
項目	2021.7.16～2022.7.15	
	金額	比率
売買委託手数料	12円	0.036%
（株式）	(11)	(0.032)
（投資信託証券）	(1)	(0.004)
有価証券取引税	2	0.005
（株式）	(2)	(0.005)
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
その他費用	17	0.051
（保管費用）	(13)	(0.039)
（その他）	(4)	(0.012)
合計	31	0.092

期中の平均基準価額は33,994円です。

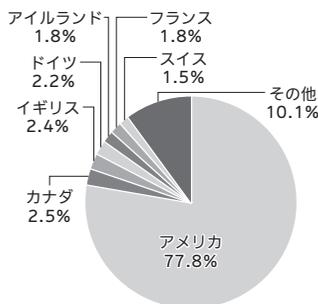
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	3.7%
2 VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	3.1%
3 WASTE CONNECTIONS INC	商業・専門サービス	アメリカ・ドル	カナダ	2.5%
4 DANAHER CORP	ヘルスケア機器・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.0%
5 S&P GLOBAL INC	各種金融	アメリカ・ドル	アメリカ	1.9%
6 PEPSICO INC	食品・飲料・タバコ	アメリカ・ドル	アメリカ	1.8%
7 ALPHABET, INC	メディア・娯楽	アメリカ・ドル	アメリカ	1.8%
8 MSCI INC	各種金融	アメリカ・ドル	アメリカ	1.7%
9 MASTERCARD INC-CLASS A	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	1.7%
10 TRADE DESK INC/THE -CLASS A	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	1.5%
組入銘柄数		232銘柄		

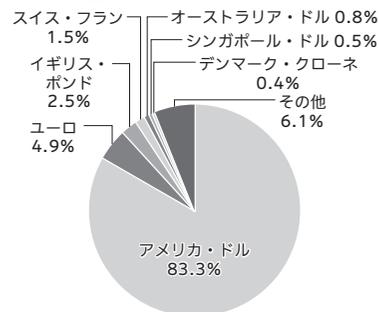
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2022年7月15日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

当ファンドのベンチマークである「MSCIコクサイ インデックス」について

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。MSCIコクサイ インデックス（100%為替ヘッジ）およびMSCIコクサイ インデックス（円換算ベース）は、MSCIコクサイ インデックス（米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。

同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

